

2011 年度秋学期 政治経済学科 アセンブリアワー プログラム

「絶望から希望・再生へ ～ 樹海からの生還」

テーマ 多くの人々が希望を語るが、希望とは何か。絶望とは何か。人が絶望し、その中から希望を見いだす出す条件とは。人生に絶望し樹海での死を覚悟した本人が、樹海からの生還を語る。

講師

本多 良男 氏(全国クレジットサラ金被害者連絡協議会事務局長)

出山 広之 氏(多重債務者支援団体太陽の会相談員)

コーディネーター 柴田武男(政治経済学科教授)

日時 2012 年 1 月 18 日(水) 11 時～ 12 時半

場所 教授会室

2010年7月までに被連協・命の電話への電話相談は14,559件ありました。死ぬしかないと思いきみ青木ヶ原樹海に入り看板を見て、あるいは富士吉田警察署で保護された方の相談は92件になります。

**1人ではない仲間がいるんだ」といえるような
「社会的居場所」「社会的家族関係」をつくるのが課題！**

参考文献 『自殺未遂者 樹海からの生還』太陽の会発行

